

令和7年度

世田谷区生涯大学第1回公開文化講演会

石川啄木と女たち

— 啄木の観た日本の女、西欧の女 —



講師 安元 隆子

日本大学特任教授

令和7年

6月21日(土)

13:30~15:00 (13:00受付開始)

参加費無料

会場

せたがや がやがや館 4階 多目的室
(世田谷区池尻2-3-11)

対象

世田谷区在住・在勤・在学の方

手話通訳あり

定員

先着85名 (定員に達し次第締め切ります)
オンライン申請45名・せたがやコール40名

申込

令和7年6月2日(月)~6月18日(水)

①オンライン申請

②せたがやコール (8:00~21:00年中無休)

電話

03-5432-3333

ファクシミリ

03-5432-3100

↑ 電子申請
二次元コード

----- お問い合わせ -----
世田谷区市民大学・生涯大学事務局
☎03-3412-3071
(平日8:30~17:00)

ファクシミリで申し込む場合

- ①行事名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④電話番号
⑤勤務先または学校名(区外在住者のみ)
⑥生涯大学の受講生または修了生はその旨を明記

石川啄木と女たち

—啄木の観た日本の女、西欧の女—

明治の歌人・石川啄木を支えた献身的な妻・節子、そして、啄木が淡い思いを寄せた橘智恵子。一方で、浅草の夜、啄木が夜の女たちにしたこととは…。啄木と女性に関わる話題に興味は尽きません。では、晩年、啄木は日本の女たちをどのような存在と認識していたのでしょうか、また、西欧の女たちを。今回のお話では、明治末期の閉塞した時代状況の中で、思想的に目覚めた啄木が捉えた日本の女たちと西欧の女たちを検証していきます。そして、その女性観から、時代を先駆ける啄木の一面を明らかにしていきたいと思います。

やすもと たかこ

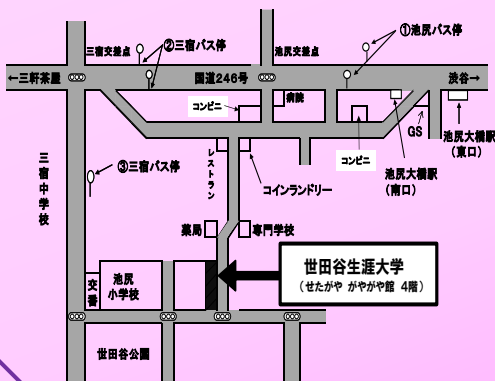
講師 安元 隆子 日本大学特任教授



日本大学国際関係学部教授を経て現在、特任教授。博士（文学）。

立教大学大学院文学研究科日本文学専攻博士前期課程修了、名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本言語文化専攻博士後期課程単位取得退学。国際啄木学会副会長。専門は石川啄木をはじめとする日本近代文学。啄木研究がきっかけでロシアとの縁が生まれ、日露交流史を中心にベラルーシやカザフスタンなどの旧ソ連圏の研究も行う。（しかし、最近の趣味はなぜかスペインのフラメンコです！?）

〈せたがや がやがや館〉



せたがや がやがや館 4階 多目的室

世田谷区池尻2-3-11

アクセス情報

【電車】 東急田園都市線

池尻大橋駅から徒歩8分

【バス】 東急「池尻」「三宿」から徒歩7分